

WHALE WATCHING 2023-2024



冬の人気アクティビティ

「ホエールウォッチング」!!

冬を繁殖活動の時期としているザトウクジラですが温暖で波静かな沖縄に拠点を移します。

巨大生物の圧倒的な存在感。船の間近で見れるスポットまで行くのでザトウクジラの大迫力に興奮まちがいなし。

※クジラを発見した場合、クジラ観測は約1時間前後の予定。ただし、海況やクジラの出現具合、お客様皆様の状況を確認し早めに帰港することもあります。予めご了承ください。

※野生の生物のためクジラは発見できない場合もあります。



冬季限定

地球上最大の哺乳類との出会いに感動!

ホエールウォッチングツアー

2023年12月23日~2024年4月4日まで

9:00発コース / 13:30発コース

大人(12歳以上) ¥5,500 子供(3歳~11歳) ¥4,500 幼児(2歳以下) ¥1,800→0円

最少催行人数: 10名以上

所要時間: 約3時間



★送迎サービスをご利用の人数により、お迎えにお時間がかかる場合がございます。予めご了承ください。★防寒、防水の準備は、お客様ご自身でお願い致します。乳幼児や高齢者の方は、海況によりご乗船をお断りする場合もございます。また、妊婦のお客様は船のエンジンの振動が悪影響となるため安全上ご参加いただけません。ご了承ください。

渡嘉敷島上陸散策付き♪ホエールウォッチングツアー

モニターキャンペーン 参加後アンケートに答えるだけで20%OFF!!

大人(12歳以上) ¥5,200 子供(3歳~11歳) ¥5,500→¥4,400
通常¥6,500円が ¥5,200 幼児(2歳以下) ¥2,000→¥1,600

最少催行人数: 10名以上

所要時間: 約5時間



★ツアー終了後アンケートに答えてお得に参加

セルリアンブルーだけの特別ツアー渡嘉敷島上陸&ホエールウォッチングツアーがセットで体験可能!

渡嘉敷島上陸後は、1時間の散策タイム♪

その後、クジラ探しの冒険へ出発♪

クジラを見られる時期は、冬の期間限定なので今がチャンスです!

沖縄の冬の名物、大迫力のホエールウォッチングをこの機会にぜひお楽しみください♪



運営
会社

Cerulean Blue
夢・感動・満足
セルリアンブルー

沖縄で出会えるダイナミックな感動体験! ホエールウォッチングツアー

1月から3月にかけて、沖縄の海はとても賑やかになります。座間味島沖でザトウクジラが確認される季節、いよいよホエールウォッチングのベストシーズンを迎えます\(^o^)/そして連日のように、本島や慶良間島などから船に乗り込み、クジラの生態に迫るホエールウォッチングツアーが行われます。クジラとのダイナミックで感動的な出会いは、きっと忘れられない体験になるはず!クジラへの海へ出かける前に、クジラに関するまめ知識や、ツアーへ参加する前に知っておきたいこと等、お役立ち情報をまとめて紹介していきます。

→ホエールウォッチングで出会えるのは、どんなクジラ?

北の海からはるばる慶良間島にやってくるザトウクジラ。体長約15メートル、体重約30トンの巨体に、大きな胸びれと扇のような尾びれが特徴です。特に尾びれは、体長の3分の1、約5メートル近くにも及びます。ダイナミックな動きをするのも納得です!



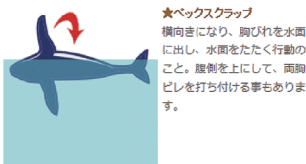
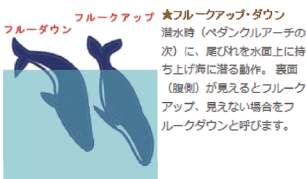
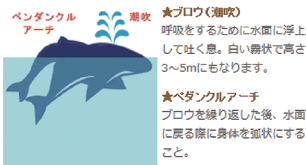
→なぜ沖縄の海にクジラがやってくるの?

夏場を北の海で過ごし、秋頃から南へ下り始め、小笠原諸島、沖縄周辺などに姿を現すクジラたち。その移動距離はナント、約9,000km! 春から夏にかけてアラスカ海域の豊富なエサでお腹を満たし、栄養を蓄えたザトウクジラは、秋から冬にかけて沖縄近海で出産、育児をおすために訪れています。ツアー中には、赤ちゃんクジラを連れて泳ぐ愛らしい後継に出会えることも。

→どこでクジラに会えるの?

沖縄本島の西側にある渡嘉敷島や座間味島周辺の慶良間(ケラマ)近海は、言わずと知れたホエールウォッチングのメッカ。その他、本島北部の伊江島でもホエールウォッチングが行われています。ツアーの出発地は、那覇や読谷村、恩納村など本島発、座間味島発と様々。例えば、本島をゆっくり観光してホエールウォッチングも楽しみたい!という方には本島発、じっくり島旅を楽しみながら離島発と旅のスタイルに合わせて選べるのも嬉しいポイントです。

知っていると楽しみ2倍♪ ザトウクジラ水面での主な行動パターン



ホエールウォッチングに必要な準備は?

【日焼け対策】
冬とは違ってまだまだ強い沖縄の日差し。天気の良い日は日焼けだけでなく、帽子やサングラスを用意してお肌ケアも念に!

【酔い止めの薬】
乗り物酔いをする方は必須・酔い止めの薬! 乗船前に飲んでおきましょう。船上では風通しの良い場所で遠くの景色を眺めるようにすると酔いにくくなります。

【防寒・防水の服装】
沖縄とは違って海上の風はまだ冷たい季節。暖かくて、水しぶきをかかっても問題ない服装でツアーに望みましょう。タオルを持参すると、準備万端!

【動きやすい服装】
波が穏やかな日でも、船上で歩くのはとても不安定です。スカートやハイヒールを避け、動きやすい服装にスニーカーでお出かけ下さいね!

